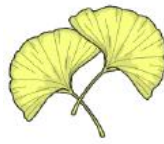


緑風だより



11月

(2021年11月発行・編集：岡本 亘)

11月に入り、涼しさを乗り越えて寒さを感じるようになりました。そろそろ暖房器具が恋しい季節です。新型コロナウイルス感染症対策だけでなく、風邪に対しても注意が必要な季節になってきました。体調管理には万全を期すようにしましょう。

さて、皆さんは、“キャリア教育”という言葉を知っていますか？“キャリア教育”とは、一般的に、小中高生が“職業観”や“勤労観”を身に付けてもらうための教育のことです。皆さんが、職業や勤労に“あこがれ”を持つことが、社会的にも大きな課題となっているのです。働くことに喜びを感じ、「楽しい」と思えるようになれば、きっと素晴らしい成果を生み出せるはずです。

11月23日は“勤労感謝の日”。皆さんも是非、“将来の夢”について考え、友達や家族同士で話しあってみてください。高校生活は将来の生き方に大きく影響すると思います。自分の将来をしっかりと考えて、高校生活を送りましょう。

春高バレー県予選 優勝！

春高バレー鳥取県大会が11月12・13日に鳥取産業体育館などで行われ、男子は鳥取中央育英が5年連続5度目の優勝を果たしました。来年1月5日から東京体育館で開催する全国大会に鳥取県代表として出場します。応援よろしくお願いします！

2回戦 鳥取育英 25-7・25-16 鳥取湖陵
準々決勝 鳥取育英 25-13・25-4 鳥取東
準決勝 鳥取育英 22-25・25-20・25-16 鳥取工
決勝 鳥取育英 25-23・25-13・25-20 米子工



第5回 寮生総会

11月25日(木)、期末考査初日の16時から、緑風寮において寮生総会を行いました。新役員の発表、暖房使用、災害時等の避難方法、寮生活及び寮規則についてなど話し合いました。

【新役員】

寮長 小林 環
副寮長 田村佑市郎
森脇 亜翠
植松 瑞希

(12月1日から)



有意義な冬休みを！

今年も残り少なくなり、いよいよ冬休みに入ります。年末年始を有意義に過ごすためにも、計画を立て、規則正しく生活してほしいと思います。また、今年を反省し、来年の目標設定をしてほしいです。3年生は高校生活も残り少なくなってきました。年明けの計画も立てて高校生活を締めくくるようにしましょう。

冬季休業中閉寮期間

12月28日(火) 午後4時～

1月 4日(火) 午前9時

帰省期間中も検温等を行い健康行動表に記録しておいてください。帰寮時には記録表を提出してください。帰寮時には体調チェックを行います。風邪様症状がある場合は帰寮せずに様子を見てください。また、動静が変更になった場合は、学校(寮務部の職員)までご連絡ください。

12月行事予定

1日(水) 創立記念日
2日(木) 学年集会・服装検査
15日(水)～17日(金) 保護者会
20日(月) 終業式
21日(火) 冬季休業開始(～1月6日)

緑風だよりは学校ホームページにも掲載します。

アドレス「<http://www.tottori-ikuei.jp/>」

『力を引き出す（「ゆとり世代」の伸ばし方）』 講談社 より 抜粋
青山学院大学陸上競技部・長距離 原晋（はら・すすむ）監督

ルールを守るだけでは意味がない

学生たちはよく知っていますが、これを忘れると監督が激怒するぞというのがあります。それは外出するときに玄関にある自分の名札をひっくり返すことなんです。

寮の入り口に全員の名札があるんですけど、外出するときにひっくり返して帰ってきたら戻す。これだけはどうも口酸っぱく言います。これもまた陸上競技と関係するんですが、スタートとゴールを大切にするという意味を持たせて習慣化させている。

あとは危機管理の意味もあります。もし何か問題が起きたときに、ちゃんと寮にいたらさっと集まることのできるし、不在がわかっていれば対処のしようがありますけど、いるかいなかかわからなかったら、無駄な時間を使うことになる。

就任当初は4年生が無断外泊して、下級生に電話して、札を元に戻しておいてくれと頼んだりして誤魔化す奴がいっぱいいたんですよ。いまではもう選手の間で完全に定着して、それでも無意識にときどきひっくり返すのを忘れて外出してしまい、忘れたことに気づいて札を返すために慌てて帰ってくる学生がいますね。なかには念には念を入れてスマホで写真を撮ってから外出する学生もいます（笑）。

朝の練習でも、朝5時に起きて札を返して800m先の球場に集合するんですが、ときどき札を返し忘れ、それに気づき、ハイスピードで帰ってくる学生がいる。

私は最近よく「寮則にはやり方が書いてあるだけだよ。だから、それをただ守るだけではなくて、何のための寮則かを理解していないとまったく意味ないよ」と選手たちに言っているんです。

たとえば門限は10時だから、9時59分に帰って来たらセーフです。ふだんはそれでOKです。でも箱根駅伝の前に9時59分ギリギリで帰って来たら、セーフじゃない。いったい何してんの、となりますよね。

練習時には5分前に集合というルールにはなっているけれど、これも5分前に集まることが目的ではない。あくまでもすぐに練習に入れるように、自分なりに準備して心に余裕を持って集まりましょうという意味なんです。5分前に来てはいるけれど、ただボーッと突っ立っている奴がおるわけですよ。それはお前、いったい何やという話になってくるわけです。

結局、書いてある表面だけをなぞって、本質、目的を見ないとそういうことになってしまいますよね。組織が発展途上の場合、ルールも未整備だし、ルールを破る人もたくさんいる。でも、組織が成熟してくると、ルールも確立し、ルールを破る人も出なくなる。でも同時に、そのルールがそもそもどういう目的やプロセスでつくられたのかを理解する人はいなくなり、ルールを守っていさえすればいい、と考える人が多くなる。

だからルールを破る人に対して怒るということとはなくなってきましたけれど、また違う言い方で引き締める必要が出てきた。

